

2026 1月 鷹栖町図書室に新しく入った本

(12月分より)

たかす(一般)

『絶縁病棟』(垣谷美雨／小学館)
『今日もスープを用意して』(加藤千恵／ポプラ社)

『デモクラシーのいろは』(森絵都／KADOKAWA)
『水は動かず芹の中』(中島京子／新潮社)
『キャバツ炒めに捧ぐ リターンズ』(井上荒野／角川春樹事務所)
『ホームレス夫婦、塩の道1014キロを歩く』(レイナー・ウィン／いそづ社)
『サム・アルトマン』(キーチ・ハイギー／ニュースピックス)
『観光列車の旅25プラン』(JTBパブリッシング)
『入浴それは、世界一簡単な健康習慣』(早坂信哉／アスコム)

☆新しく入った本は他にもございます。
図書室では新着図書のリストを配布して
おります。また、鷹栖町図書室の蔵書検索か
ら探すこともできます。



『最後の一色』上・下(和田竜／小学館)
『女王様の休日』(古内一絵／中央公論新社)
『彼女たちは楽園で遊ぶ』(町田そのこ／中央公論新社)
『お夜食処おやさいどき』(森原すみれ／KADOKAWA)
『AIでゼロからデザイン』(川合卓也／翔泳社)
『最新間違いだらけのエネルギー問題』(山本隆三／ウェッジ)
『ラーメン一杯いくらが正解なのか』(井出隊長／早川書房)

たかす(児童)

『ぼくのおじいさん』(飯野和好／偕成社)
『しんしんゆきのふるばんに』(あべ弘士／ひかりのくに)

『モンスターにつかまるなとうとうさぎ!』(ヨナナ・ビョルンシェーナ／クレヨンハウス)
『たねはいのちのおわりとはじまり』(鈴木純／ブロンズ新社)
『ことばづかいがかわる! くちぐせキャラ図鑑』(齋藤孝 監修／日本図書センター)
『なんで人間にはしっぽがないの?』(東島沙弥佳／新泉社)
『ぐんぐん日本語力をみがくよみきかせことばのお話25』(ささきあり／西東社)
『まほうのるんるんきせつごはん』(まいのおやつ／KADOKAWA)
『ともだちは102さい』(菅野由貴子／文研出版)
『ミミナシホーイチ』(長田結花／岩崎書店)
『うさぎのふるひ』(ティエハウ／パイインターナショナル)
『まんがでわかる! 子ども防犯性教育』(高橋幸子 監修／KADOKAWA)
『ようこそ講談の世界へ』(小泉博明／富山房インターナショナル)
『挑戦する田んぼ』(安田弘法／岩波書店)

きたの(一般)

『ハレーション』(森沢明夫／KADOKAWA)
『波乱万丈な頼子』(真梨幸子／中央公論新社)

『宙色のハレルヤ』(窪美澄／文藝春秋)
『加害者家族として生きて』(松本麗華／創出版)
『すぐに使えるビジネス教養地政学』(村山秀太郎 監修／フォレスト出版)
『終のクルマ選び』(温水ひろし／小学館)
『北の森の和毛たち』(佐藤章／玄光社)

『職分』(今野敏／双葉社)
『女の子の背骨』(市川沙央／文藝春秋)
『いまだ悪戦苦闘中』(垣谷美雨／双葉社)
『三國、燃え尽きるまで厨房に立つ』(三國清三／扶桑社)
『「ふるさと回帰」という選択』(澤千絵／岩波書店)
『人生100年時代の冷えとり大全120』(川嶋朗／Gakken)
『玉三郎の「風を得て」』(真山仁／文藝春秋)

きたの(児童)

『とろとろおばけ』(たなかひかる／文響社)
『かみなりせんによといなづませんによ』(チンテラム／小峰書店)

『無価値のポラリス』(キムミンソ／静山社)
『こども文章教室』(バウンド／カンゼン)
『ぐっすりおやすみやすやランド』(長谷川あかり／世界文化社)
『クリスマスバス』(藤本ともひこ／鈴木出版)
『知ったかぶりをした日から』(かさいまり／岩崎書店)
『ぜつめつしたいきもの』(今泉忠明 監修／フレーベル館)

ほか

～鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています～

図書室だより 冬のおたのしみ会

1月10日(土) 10:30～ふらっと
多目的活動室で【ボードゲームであそぼう!】を行います。対象は鷹栖町在
住の小学生! 参加費は無料!
12/13より事前申し込みを受けつけ
ています! (定員15名程度)
手ぶらで参加できますのでぜひ気軽に
あそびにきてね! (低学年から楽しめる
ボードゲームを使います。安心して
参加してね!)



12月の本棚リレーは
斉藤恵美子さんでした。



12月の「音楽のある図書室」は
平天音さんによる
ギターの弾き語りでした。

